

日清紡グループの環境保護活動 美合工機事業所内で希少生物ヒメタイコウチの生息を確認

日清紡メカトロニクスでは、美合工機事業所（愛知県岡崎市）内にある増田公園のビオトープ（生物生息空間）活動を推進しています。6月16日には従業員とその家族、地域の小学生が参加し、総勢32名で外来種の駆除、散策路整備などの活動を行いました。これまでに150種類以上の動植物の生息が確認できています。この中には、絶滅危惧種のニホンカワモズク（植物）やヒメタイコウチ（昆虫）といった生物も含まれています。

この増田公園は古池を利用し、70年ほど前に整備された企業内学園の庭園でした。すでに学園はなくなりましたが、今でも植樹された桜、竹、もみじ等で四季を感じ、また高台にありながら真夏でも池の水は枯れることがない神秘的な空間として保存されています。2016年の生態系調査でヒメタイコウチなどの希少動植物が発見され、さらにトンボ類の生息環境としてポテンシャルが高いことが判明しました。そのため、持続可能な社会の実現に向けた生物多様性保全活動の一環として、当事業所ではトンボ類の生息環境創出を中心としたビオトープ活動を推進しています。

これまでに池周辺の不要な樹木の伐採、トンボの幼虫の外敵となるアメリカザリガニの駆除、池に密生している外来スイレンの育成制御、新たなトンボ類の繁殖を促すトンボ池の新設などを行って来ました。特にザリガニ駆除では子どもたちが大活躍してくれます。住宅地域には珍しい豊かな自然を守ることで、自然にふれあう楽しさを体験し、笑顔があふれる活動になっています。

今後も地域と協力しながら引き続き整備・調査活動を行っていくことで、「環境・エネルギーカンパニー」グループの一員として動植物と共生する環境に配慮した事業活動を推進してまいります。

以上

【これまでに生息が確認できた主な動植物】

クロイトトンボ、ハグロトンボ、オニヤンマ、オオシオカラトンボ、クマゼミ、ツマクロヒョウモン、サトキマダラヒカゲ、ヒガシニホントカゲ、カワセミ、ベニシダ、ノリウツギ、ヤブミョウガ など

■活動の様子



アメリカザリガニの駆除



外来スイレンの駆除

■生息が確認された生物



ヒメタイコウチ



クロイトトンボ